CHUBU STEEL PLATE
中部鋼鈑株式会社

2022年3月期
決算説明会

2022年 6月28日（火）

あつい心で未来を創ります
中部鋼鈑株式会社

目次

中部鋼鈑㈱の現状と今後 2

‘22年３月期　通期決算実績 15

‘23年３月期　通期業績見通し 22

【本資料お取扱上のご注意】

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また本資料に含まれる将来の計画値、予測値等は説明会時点の入手できる情報に基づいて判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

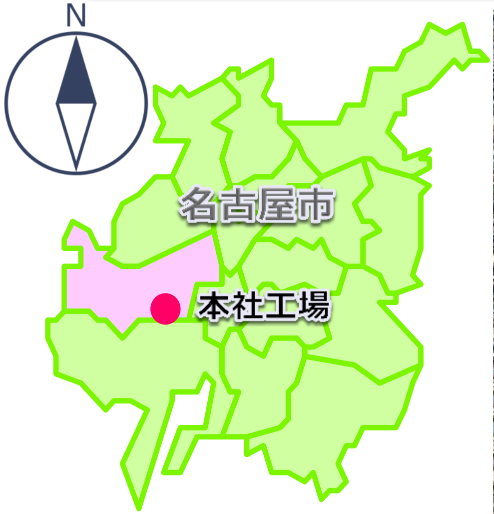
従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

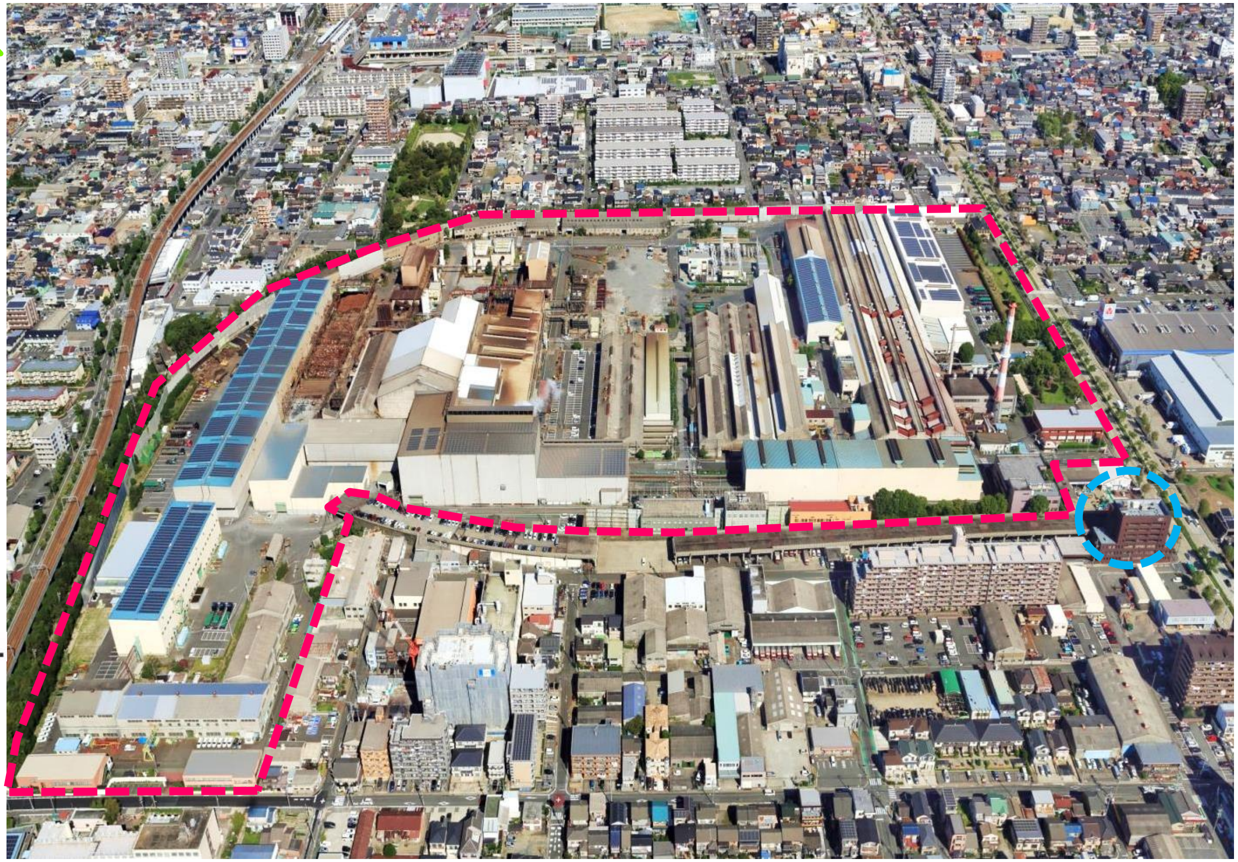
© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

中部鋼鈑㈱の現状と今後

中部鋼鈑は名古屋市の市街地に立地

愛知県は日本の「もの造り」の中心
原料調達、製品出荷に有利なポジション



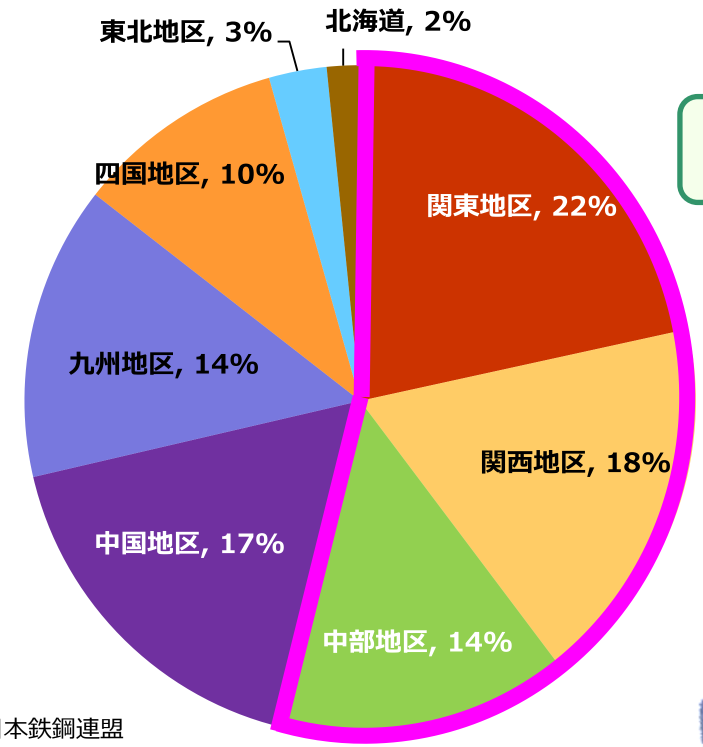


あつい心で未来を創ります
中部鋼鈑株式会社
CHUBU STEEL PLATE CO., LTD.

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

国内厚中板　地域別需要

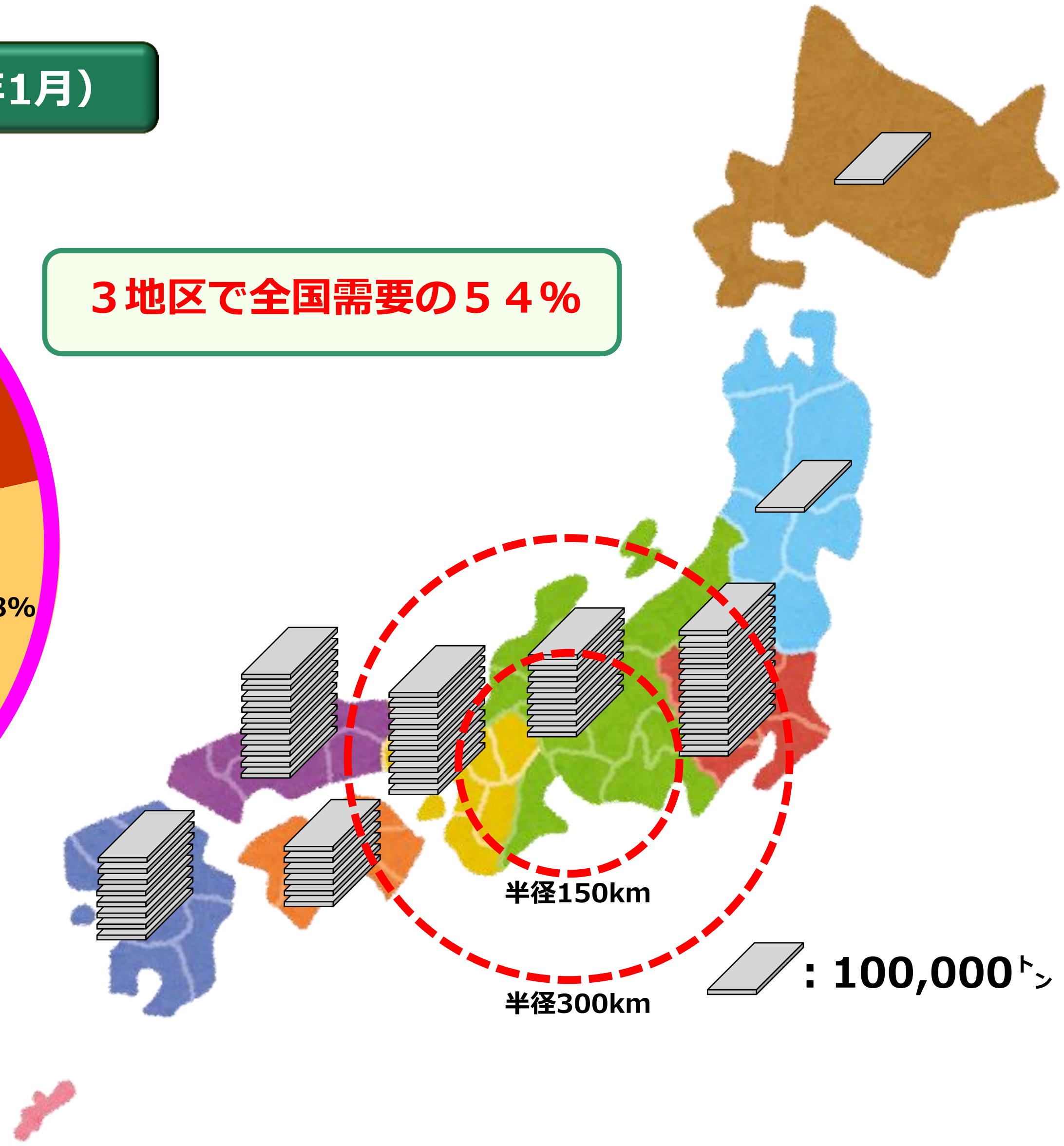
全国内需（2021年4月～2022年1月）



出所：日本鉄鋼連盟

※輸出は除く

３地区で全国需要の５４%



© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

中部圏のイベント

CHUBU STEEL PLATE
中部鋼鈑株式会社

◆第２０回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）

◆選手村後利用事業（2027年以降）

◆北陸新幹線(金沢－敦賀延伸2023年）

◆リニア事業(当初予定2027年度)

名古屋駅スーパーターミナル化

中津川駅周辺地区再開発

◆名鉄名古屋駅再開発(当初予定2022年度) ★

◆名古屋栄地区再開発

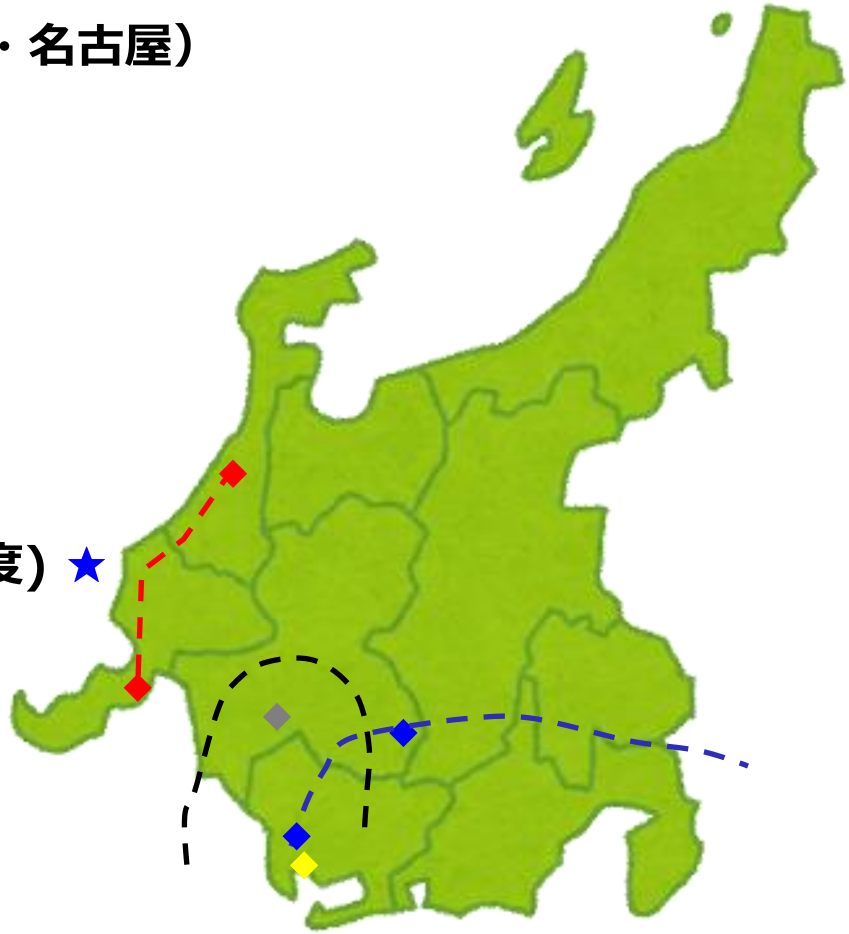
栄広場（2026年度）★

中日ビル（2024年度）★

名古屋三越栄店（2029年度）★

◆岐阜駅前再開発（2028年度）★

◆東海環状自動車道全線開通(2026年）



中部圏以外

大阪万博(2025年)

首都高大規模改修（2024年度）

新幹線の耐震補強

★:スクラップ発生案件

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

厚板工場分布(厚板業界を取り巻く環境)

CHUBU STEEL PLATE
中部鋼鈑株式会社

☆名古屋　中部鋼鈑

①君津　日本製鉄

②大分　日本製鉄

③京浜　JFEスチール

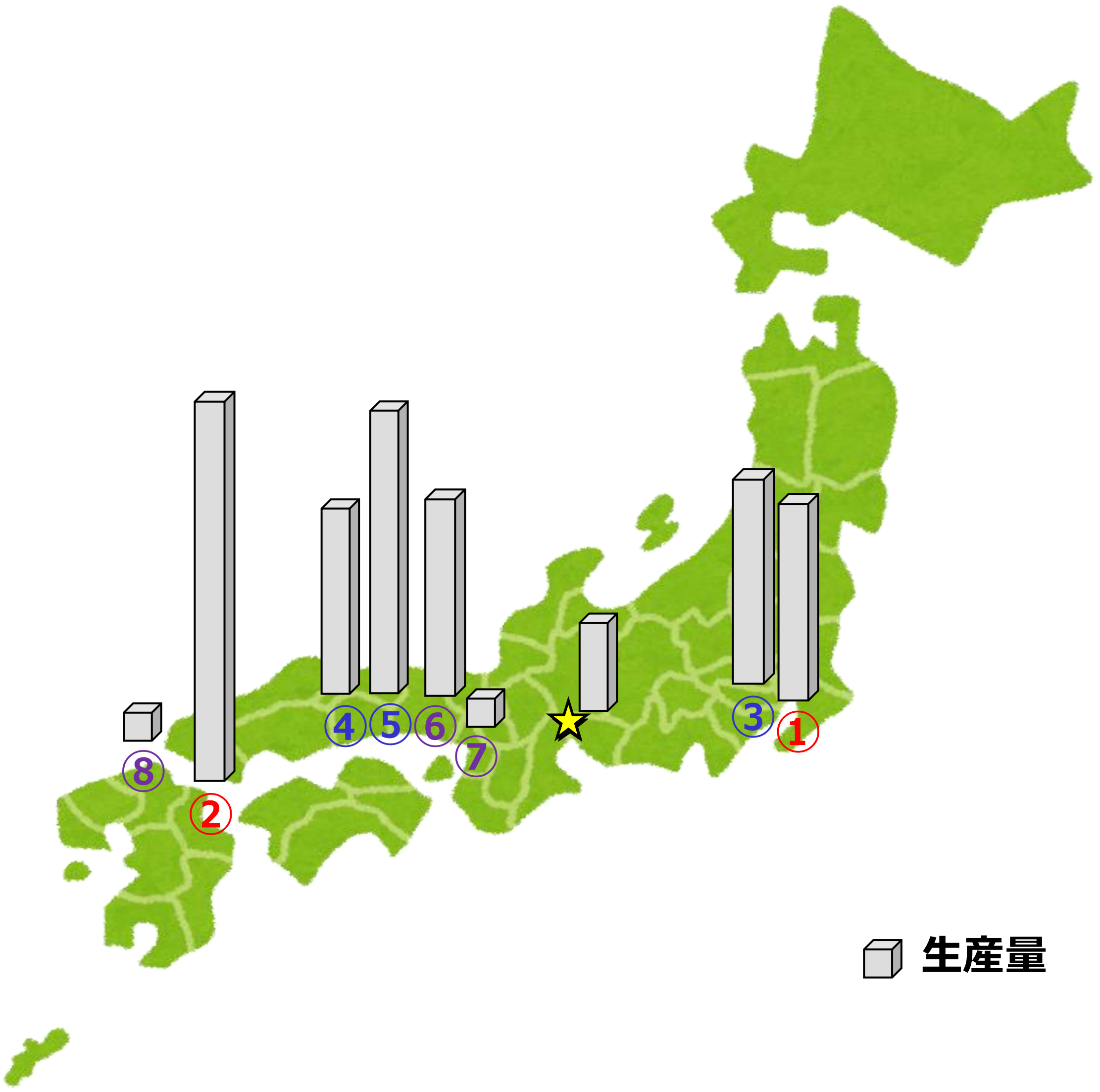
④福山　JFEスチール

⑤倉敷　JFEスチール

⑥加古川　神戸製鋼所

⑦大阪　中山製鋼所

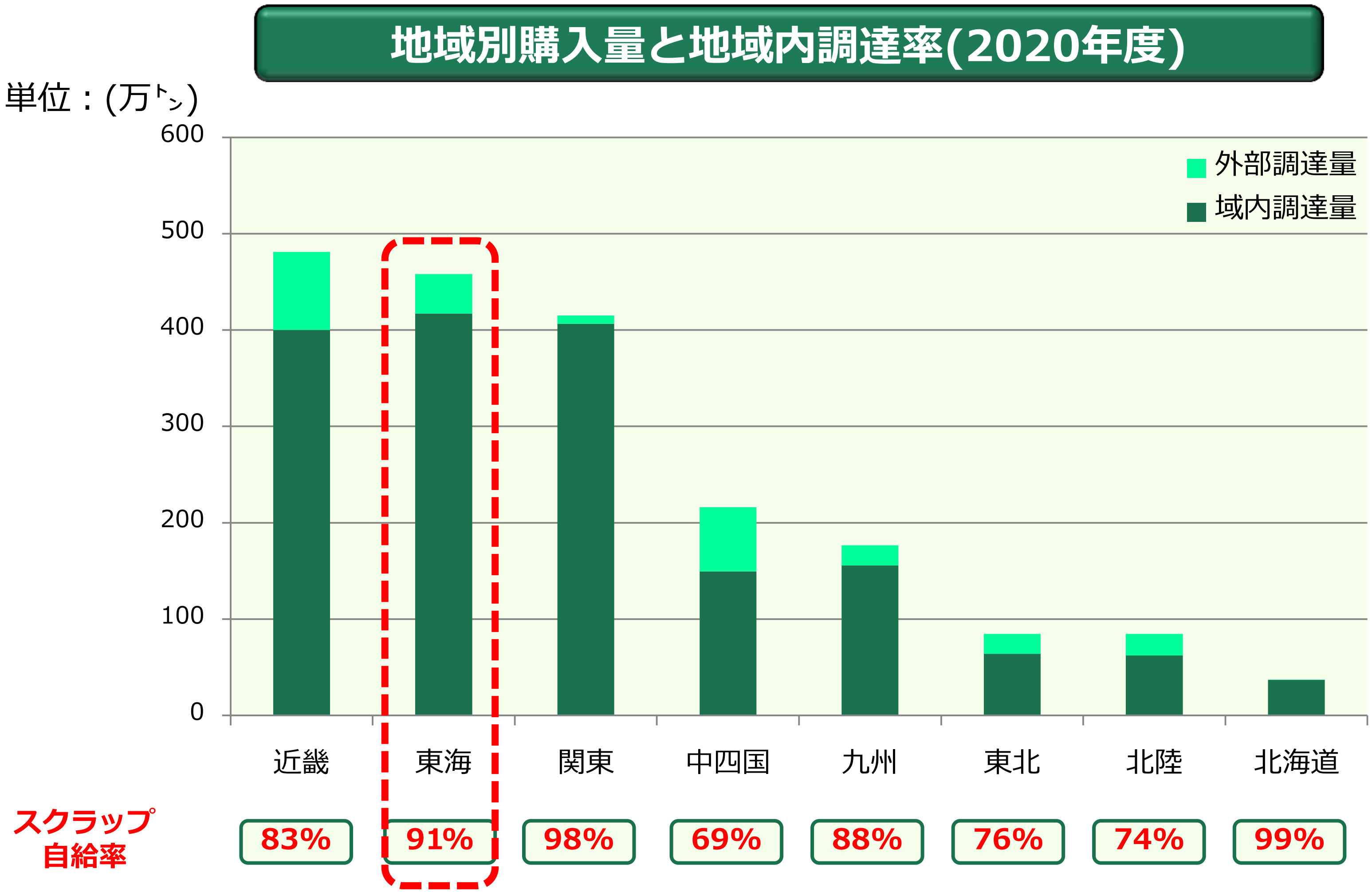
⑧小倉　東京製鐵



出所：日本鉄鋼連盟

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

地域別スクラップ購入状況



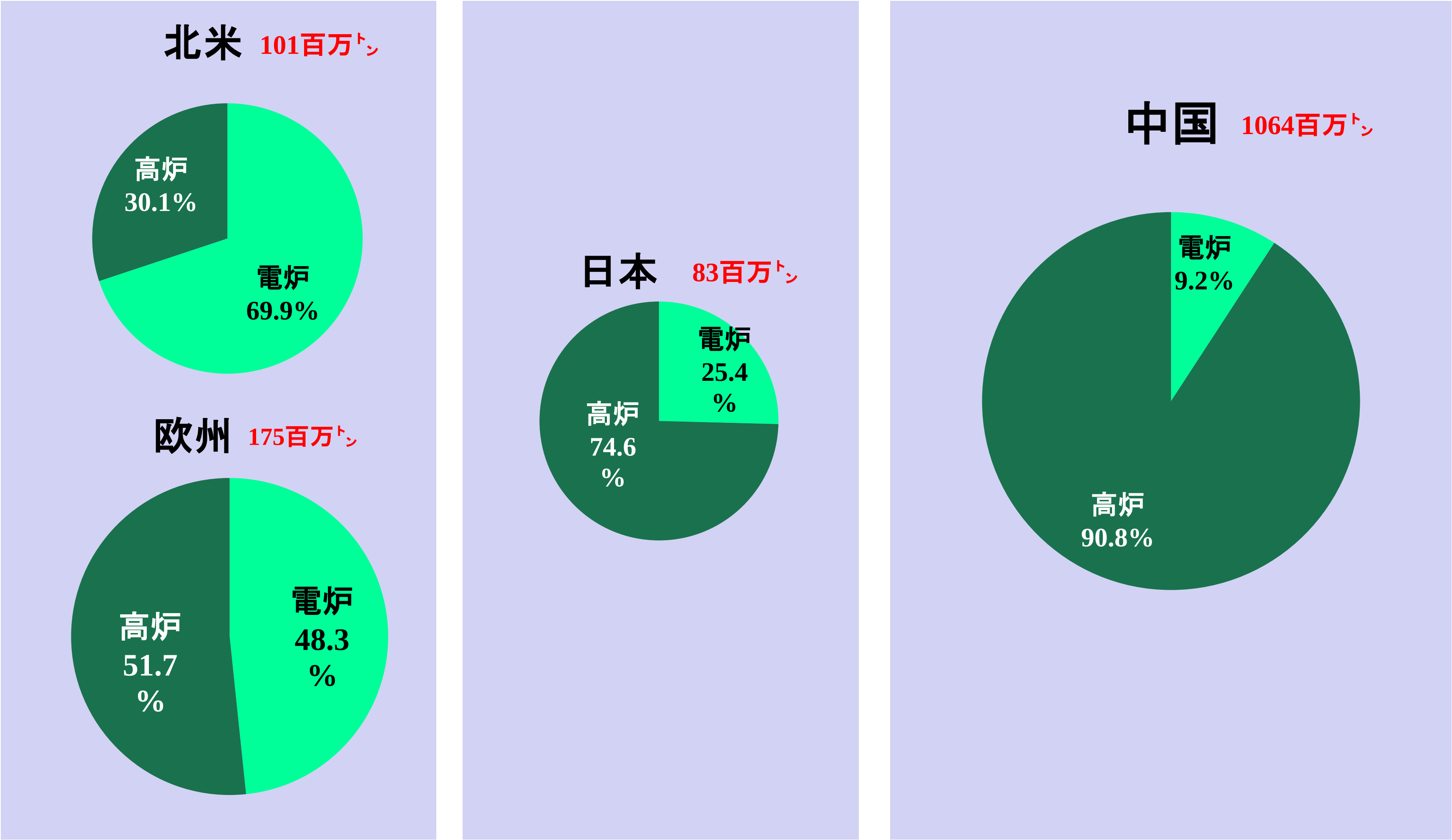
・近畿に次ぐ大消費地だが、使用するスクラップの大宗を域内で調達可能

出所：日本鉄源協会

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

世界主要地域の電炉比率

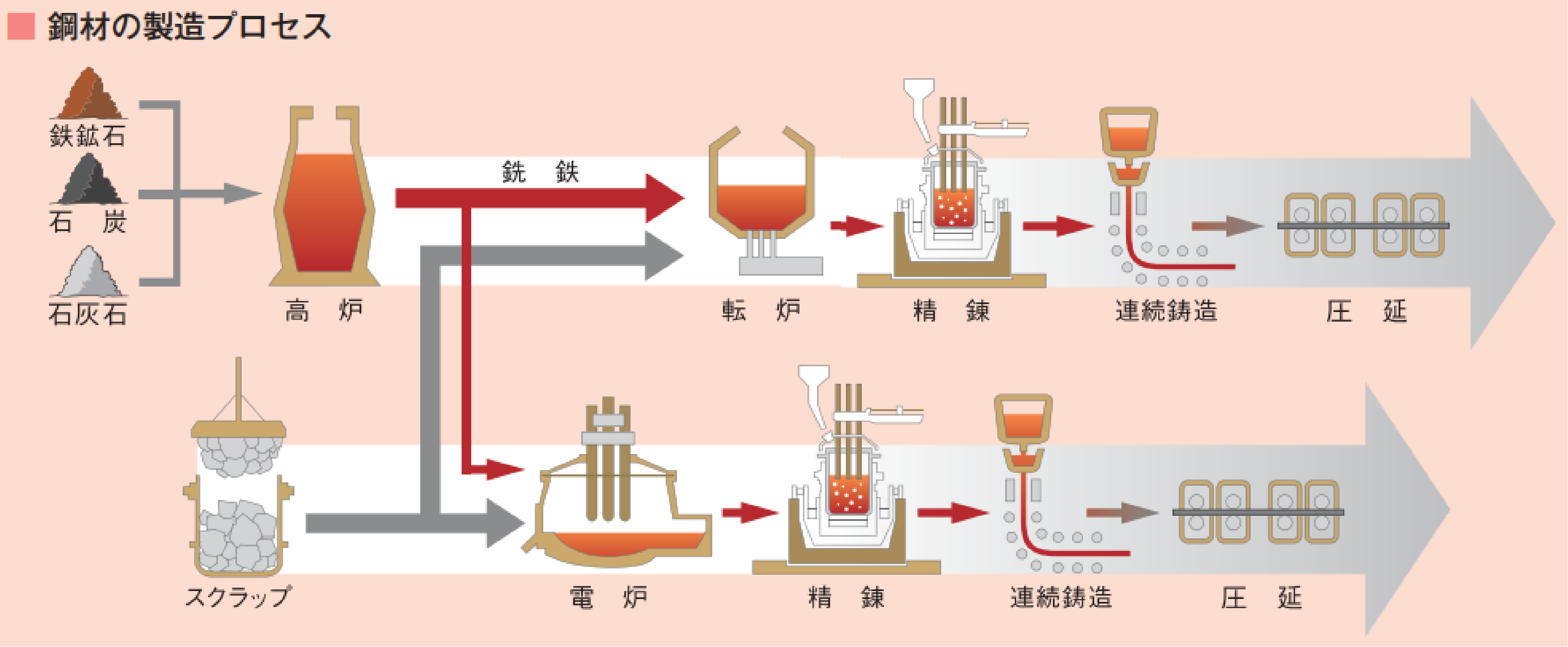
‘20年世界主要地域炉別粗鋼生産比率（特殊鋼含む）



出所：日本鉄源協会データに基づき中部鋼鈑作成

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

高炉と電炉



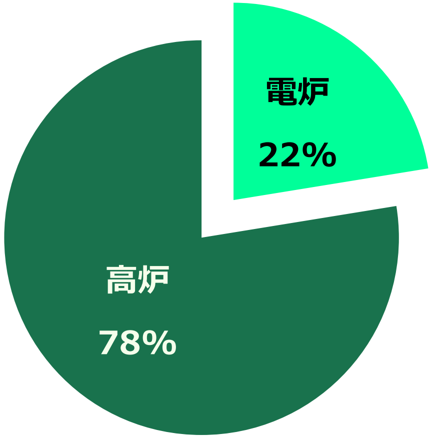
電炉の CO_2 排出量は、高炉の約4分の1

*2021/3/30　日本経済新聞

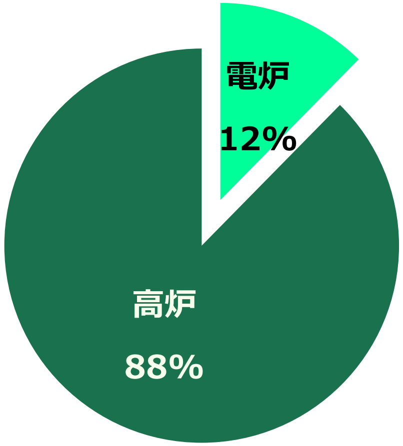
国内普通鋼生産実績

‘21年度上期実績

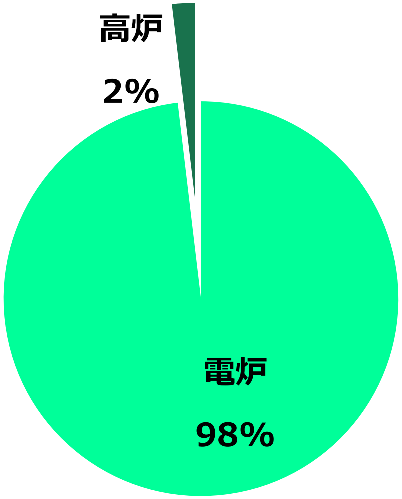
普通鋼粗鋼



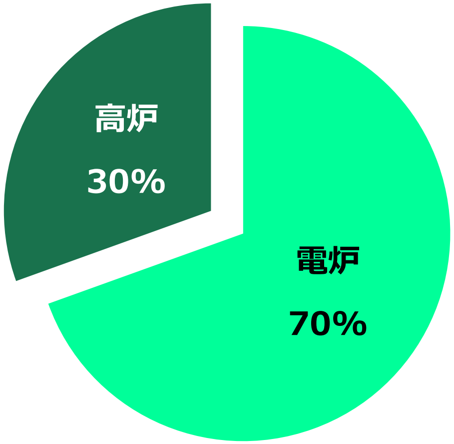
厚板



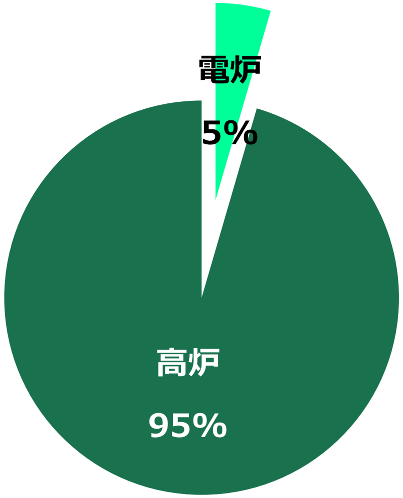
棒鋼



形鋼



コイル

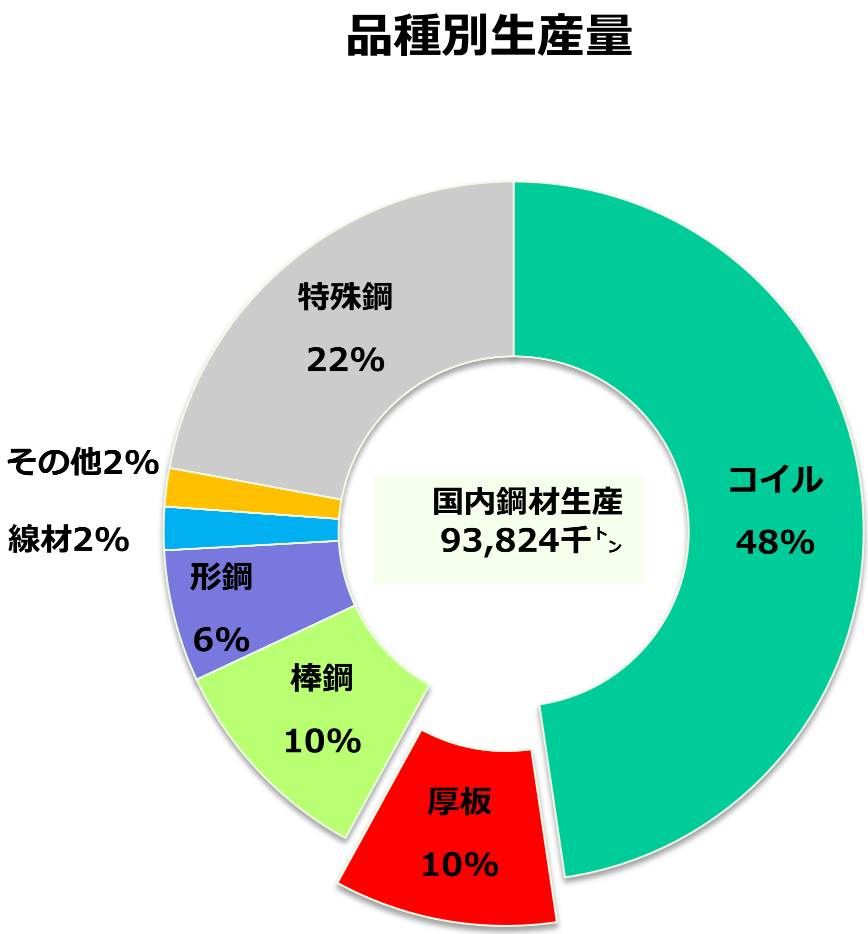


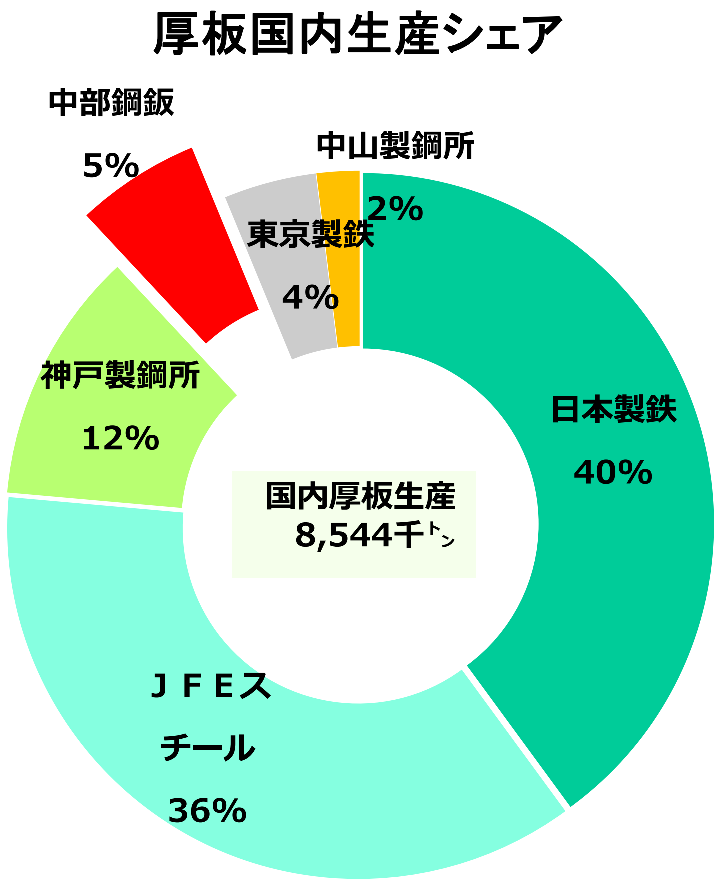
出所：日本鉄鋼連盟データ等に基づき中部鋼鈑作成

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

国内鋼材生産状況

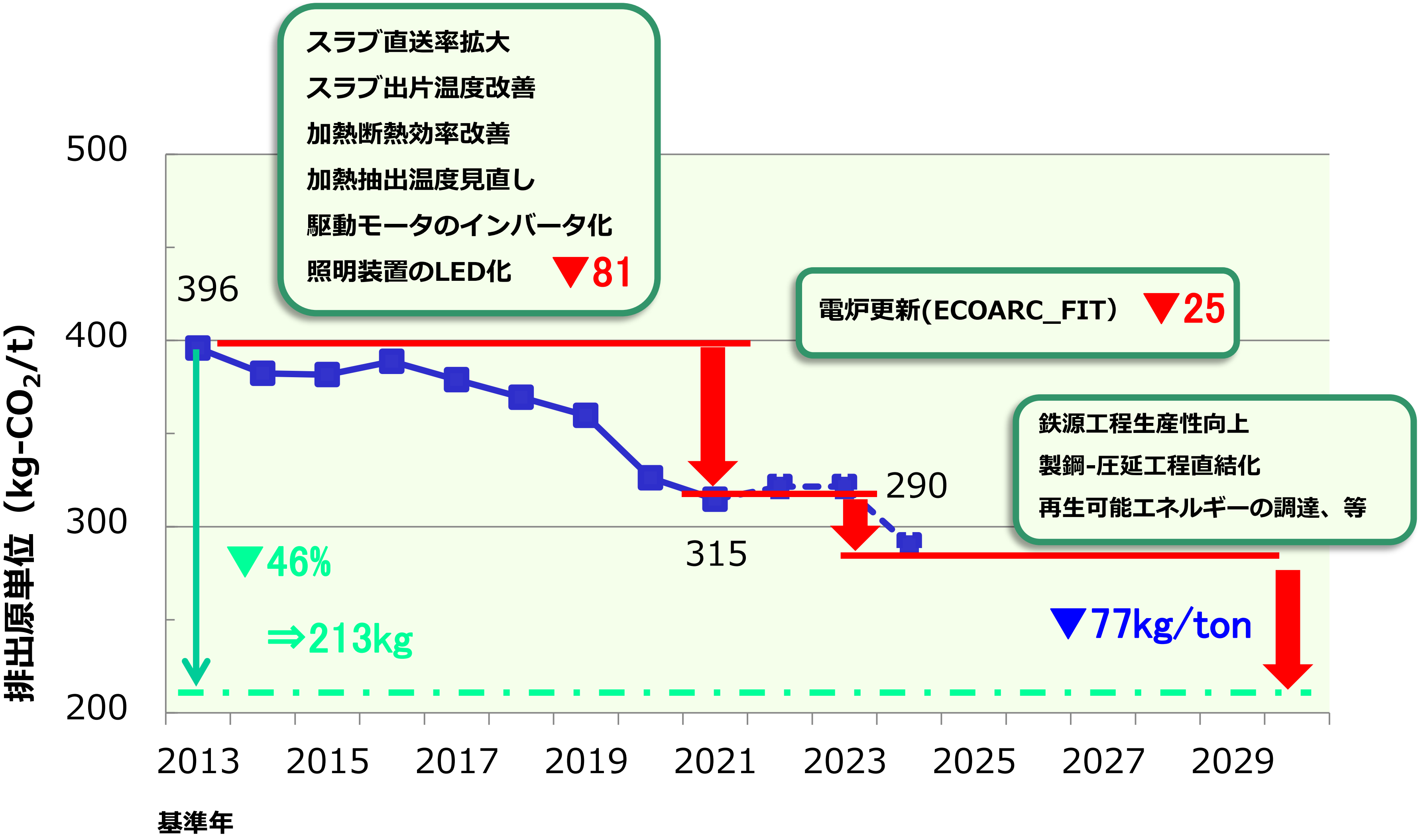
2020年10月～2021年9月実績





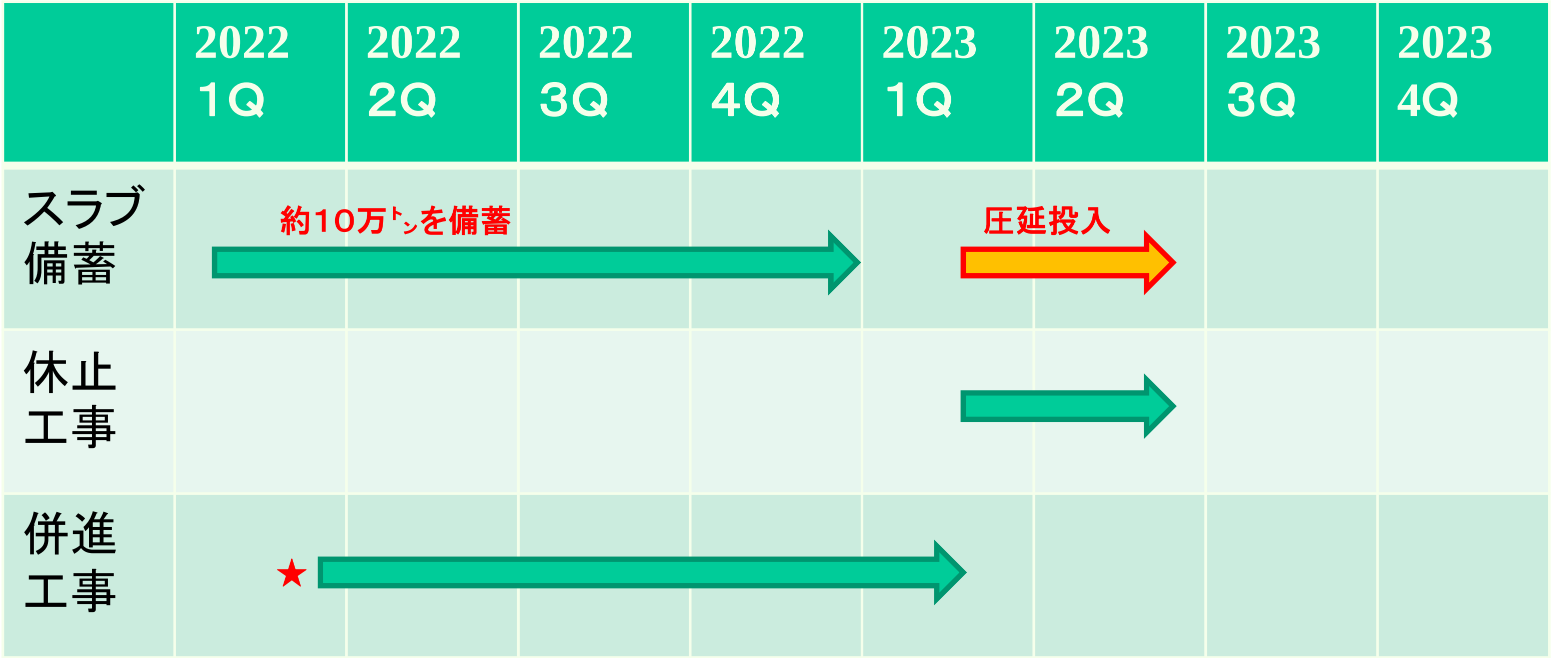
出所：日本鉄鋼連盟

当社のCO_2排出原単位（排出量/製造ton）



電気炉更新の現状

電気炉更新スケジュール



電気炉工事期間中も製品供給を継続できるよう、本年度中に当期間で圧延するためのスラブを備蓄する。

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

電気炉更新に向けたスラブ備蓄

写真　スラブ積載

社内駐車場の一部を備蓄用スラブ置場として使用。

約１０万ﾄﾝを備蓄し、２０２３年度の出荷量は変化無し。

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

‘22年3月期 通期 決算実績

通期業績（連結）の概要

売上高	643 億円（※前期比２４０億円増）

増収要因 鉄鋼関連事業で、主な需要先である産業機械・建設機械向けの鋼材需要が回復。

経常利益	55 億円　（前期比　29億円増）

増益要因 鉄スクラップ価格が高騰するも、販売価格の引き上げが浸透し、経常利益を確保。

※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準を適用した会計方式に変更しております。
前期と単純比較すると、売上高が一部の子会社で減少する形になります。
よって、売上高差異は参考値とします。尚、営業利益、経常利益、当期純利益に与える影響はありません。

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

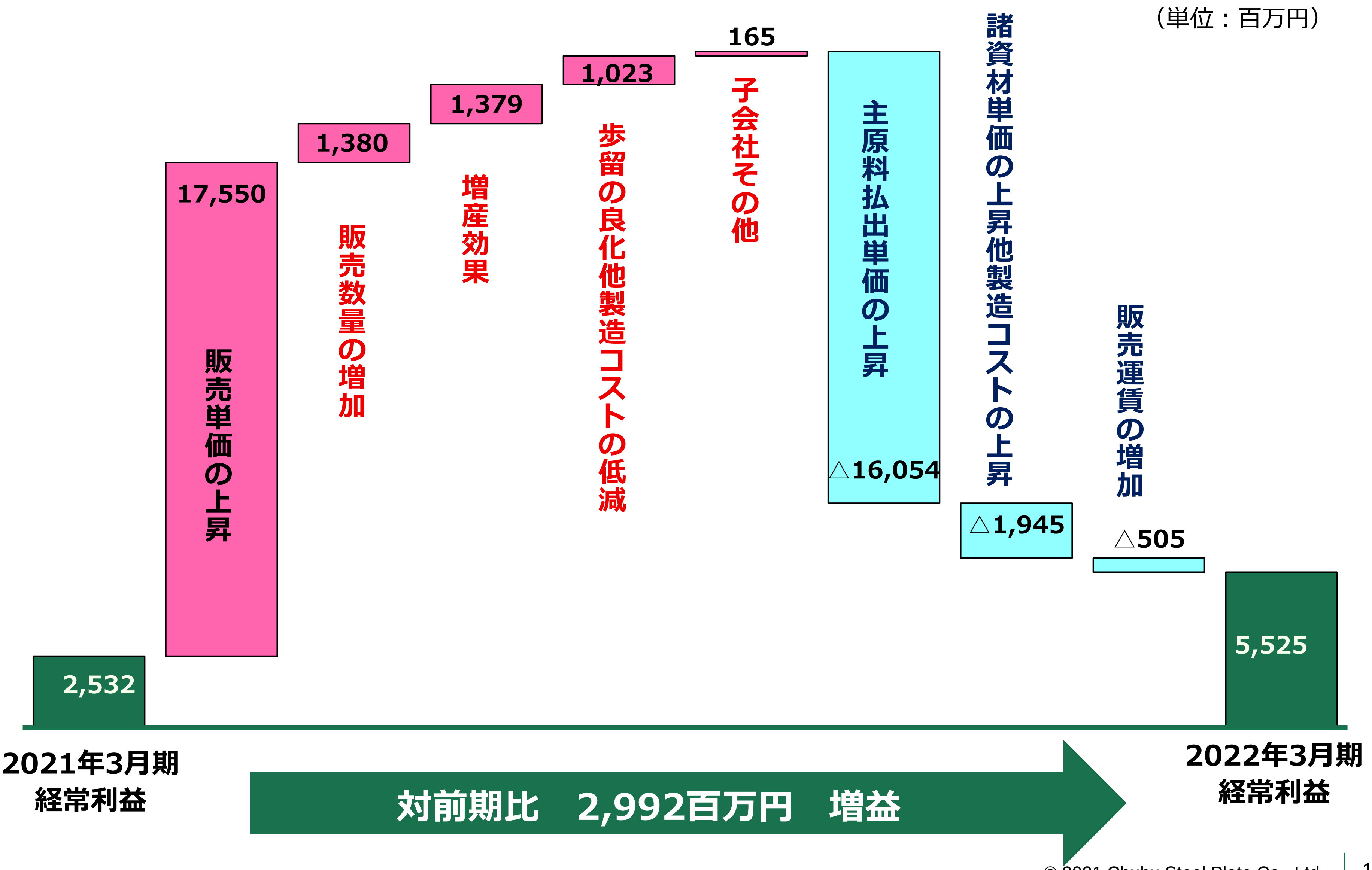
通期業績（連結）

（単位：百万円）

	2021年3月期	**2022年3月期**	増減	対前期増減率
売上高	40,327	**64,399**	（※） －	－
営業利益	2,574	**5,554**	2,979	115.7%
経常利益	2,532	**5,525**	2,992	118.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,593	**3,785**	2,192	137.6%
1株当たり当期純利益（円）	57.74	**137.11**	79.37	137.5%

※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準を適用した会計方式に変更のため、表記せず

経常利益対前期比増減分析（連結）



© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

セグメント別実績

（単位：百万円）

	2021年3月期		**2022年3月期**		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼関連事業	37,537	2,247	**61,721**	**5,138**	（※）　－	+2,891
レンタル事業	646	55	**666**	**59**	+20	+4
物流事業	3,239	245	**890**	**258**	（※）　－	+13
エンジニアリング事業	2,084	△51	**1,857**	**31**	△227	+82
セグメント間取引消去	△3,180	77	**△737**	**65**	（※）　－	△12
連結合計	40,327	2,574	**64,399**	**5,554**	－	+2,979

※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準を適用した会計方式に変更のため、表記せず

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

財務状況（連結）

（単位：百万円）

		2021/3末	2022/3末	増減
資産の部	現預金	7,764	**8,311**	+547
	売上債権	12,394	**22,318**	+9,924
	有価証券	15,502	**12,300**	△3,202
	棚卸資産	7,477	**9,535**	+2,058
	有形固定資産	19,305	**17,803**	△1,501
	その他	7,022	**7,476**	+454
	資産合計	69,466	**77,746**	+8,280

		2021/3末	2022/3末	増減
負債の部	仕入債務	4,337	**7,004**	+2,666
	固定負債	1,057	**1,069**	+12
	その他	1,302	**3,614**	+2,312
	負債合計	6,697	**11,688**	+4,990
純資産の部	株主資本	61,350	**64,537**	+3,186
	その他	1,418	**1,521**	+102
	純資産合計	62,768	**66,058**	+3,289
負債純資産合計		69,466	**77,746**	+8,280

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

キャッシュフロー（連結）

CHUBU STEEL PLATE 中部鋼鈑株式会社

（単位：百万円）

	2021年3月期	**2022年3月期**	増減
税金等調整前当期純利益	2,488	**5,566**	+3,078
減価償却費	2,573	**2,427**	△146
売上債権の増減（△は増加）	△1,550	**△9,923**	△8,373
棚卸資産の増減（△は増加）	△2,098	**△2,058**	+40
仕入債務の増減（△は減少）	927	**2,667**	+1,740
その他	△1,981	**133**	+2,114
①営業活動によるキャッシュ・フロー	358	**△1,188**	△1,547
②投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,593	**3,350**	+4,944
配当金の支払額	△772	**△607**	+165
その他	△2	**△2**	–
③財務活動によるキャッシュ・フロー	△775	**△609**	+165
現金及び現金同等物の期末残高	11,764	**13,311**	+1,547

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

‘23年3月期 通期業績見通し

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

‘23年3月期 連結業績見通しの概要

売上高	832 億円　（前期比 188億円増）

増収要因

国内外での厚板需要の回復を背景に、販売数量・販売単価とも前期を上回る見通し。

経常利益	47 億円　（前期比 7億円減）

減益要因

スクラップ及び副資材・エネルギー単価の上昇要因が大きく、販売価格の是正を進めるも前期比で減益となる見通し。

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

'23年3月期 連結業績見通し

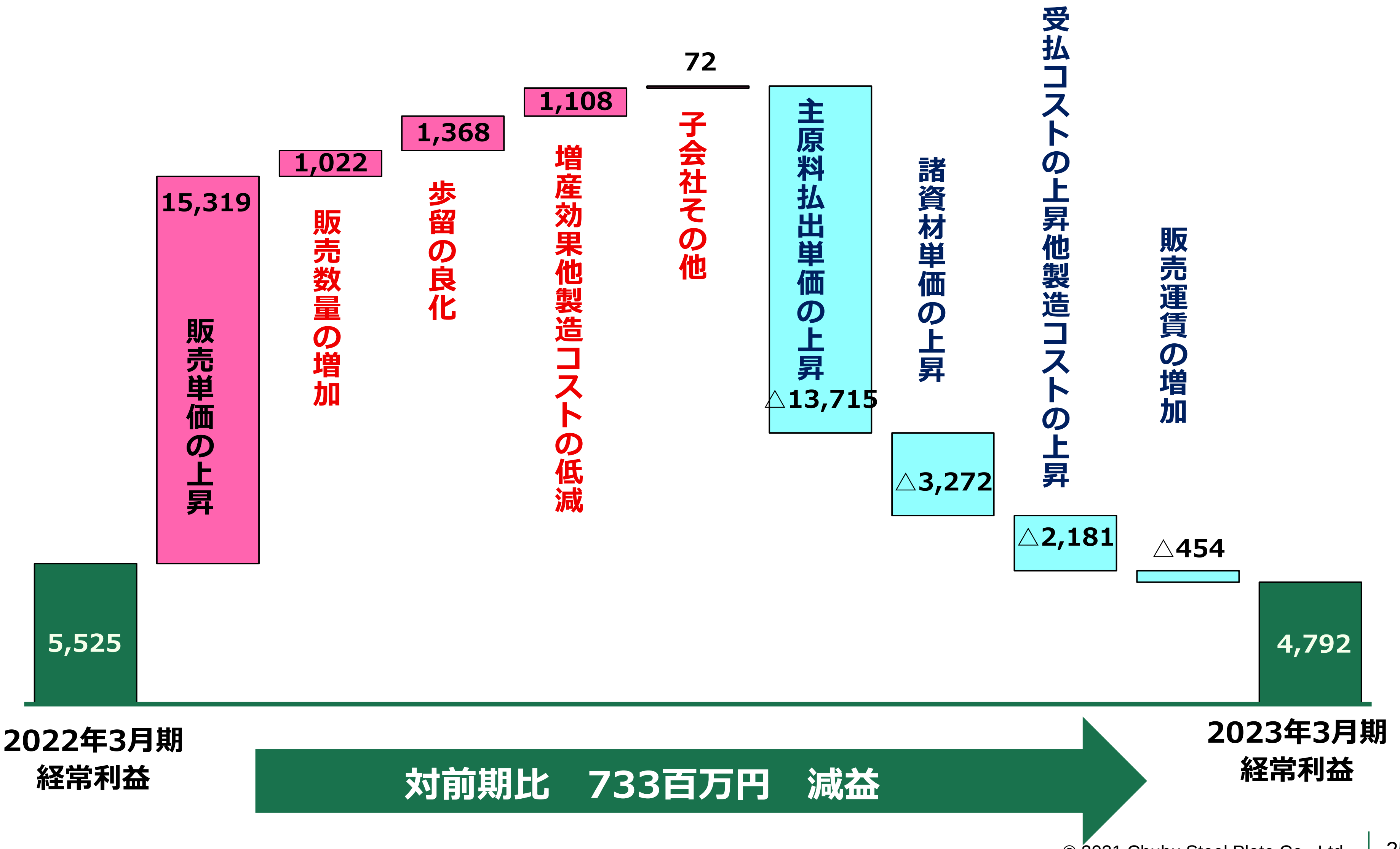
（単位：百万円）

	2022年3月期	**2023年3月期 見通し**	増減	対前期増減率
売上高	64,399	**83,200**	18,801	29.2%
営業利益	5,554	**4,700**	△854	△15.4%
経常利益	5,525	**4,700**	△825	△14.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,785	**3,100**	△685	△18.1%
1株当たり当期純利益（円）	137.11	**112.26**	△24.85	△18.1%

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

対21年度比22年度経営計画増減分析(連結)

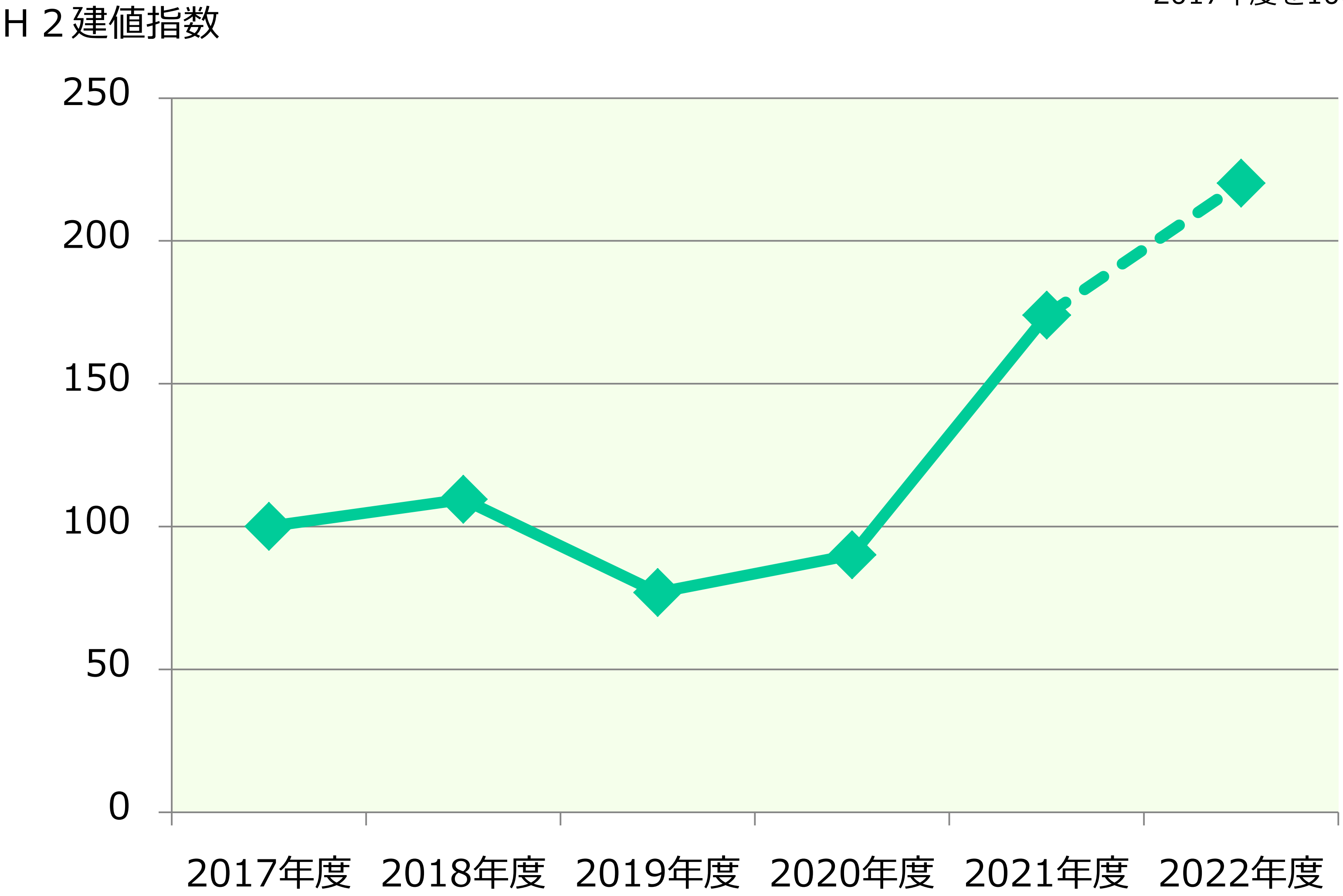
（単位：百万円）



© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

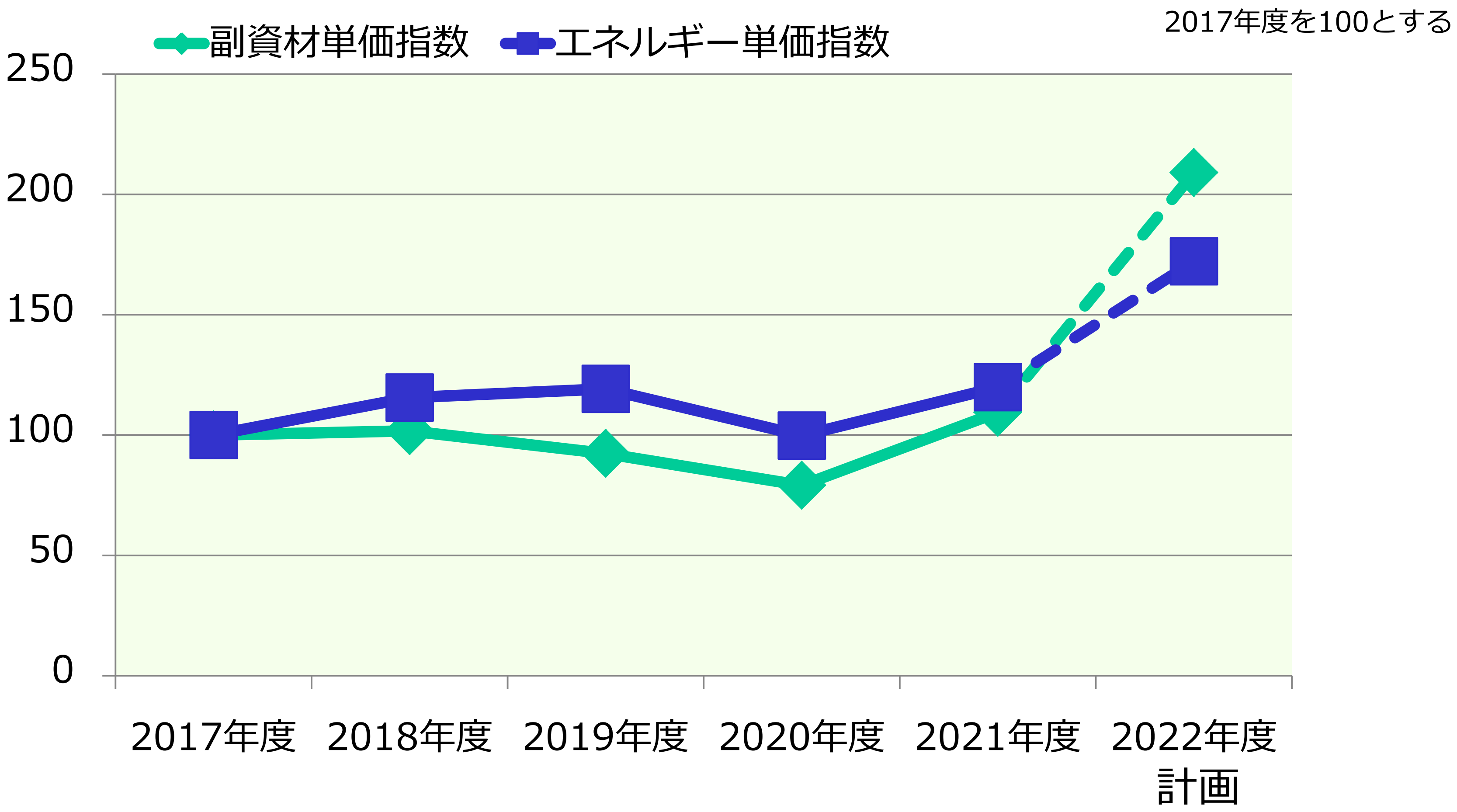
原材料価格の動向

2017年度を100とする



＊4月末の値

エネルギー・副資材の現状と今後について



エネルギー：昼間操業及び原油高騰により上昇を見込む

副資材　　：世界的な需要増や電力価格高騰等により上昇を見込む

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

セグメント別見通し（'23年3月期）

CHUBU STEEL PLATE 中部鋼鈑株式会社

鉄鋼関連事業

主要製品である厚板は産業機械・建設機械向け需要の回復により増収

販価上昇を見込むも、それを上回る原料や資材の高騰により減益

レンタル事業

コロナ影響は残るも、新規顧客の取込等で増収

代理店の採用や内製化の推進によるコスト削減などで増益

物流事業

倉庫事業は取引先の一部入れ替えが発生し減収

業務効率化を図りコスト削減に努めるも売上高減少の影響により減益

エンジニアリング事業

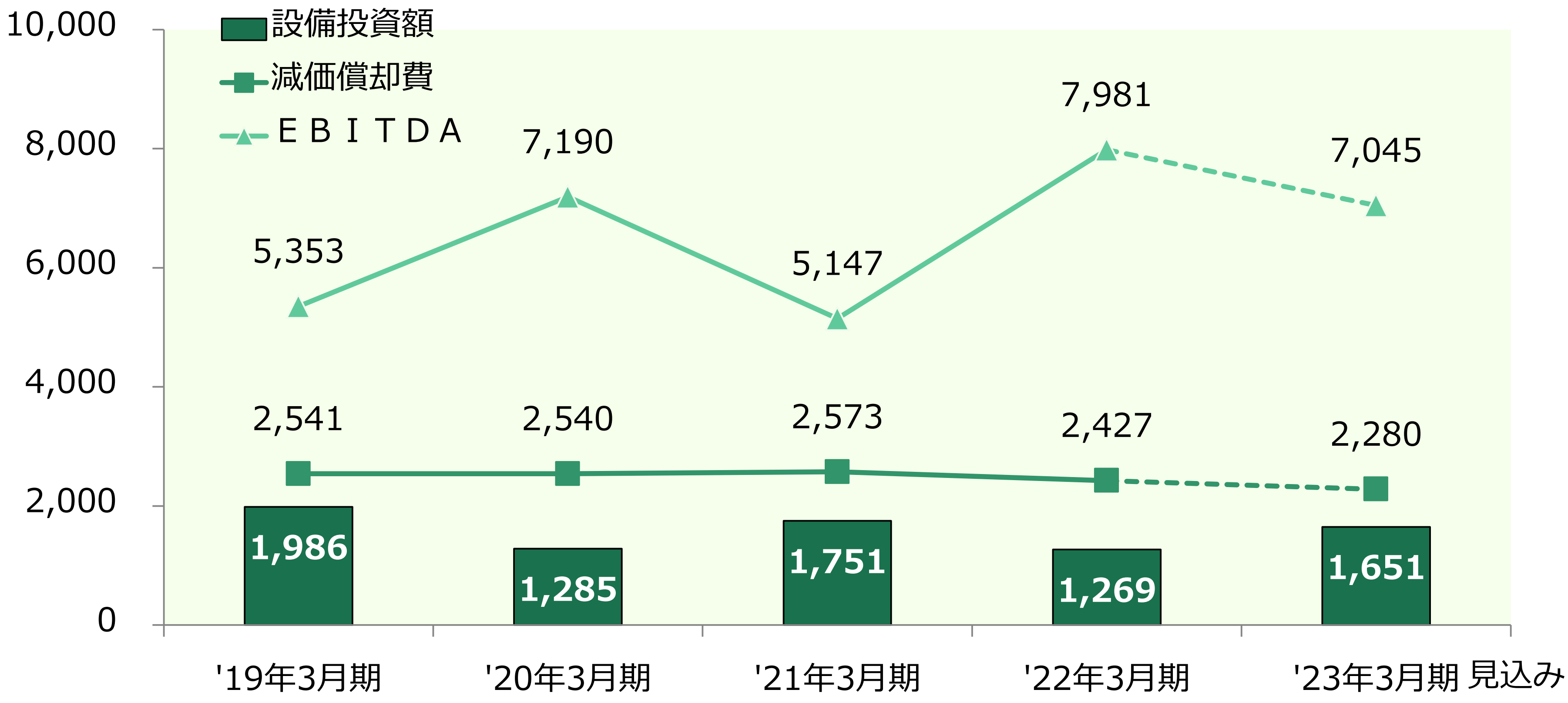
市況は回復傾向にあり、当社電気炉事前工事案件もあり増収

社内体制見直し及びコストダウンプロジェクト推進等により増益

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

設備投資・減価償却費見通し（連結）

（単位：百万円）



’23年3月期 主な投資	受電所設備3.3kV配電盤更新
	2CC主幹制御PC及びHMI更新
	エッジャー主機及び補機ドライブ装置更新
	製品レーザー厚み計3ヘッド化

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

主な資産の取得

‘21年3月期通期	**炉自動燃焼制御の導入** 加熱炉自動制御化：燃料使用量削減	**30百万円**
	スクラップヤードランウェイガーダの更新 クレーンガーター老朽更新：保全	**190百万円**
	受電変電所設備の更新 受電設備老朽更新：生産性向上	**610百万円**
‘22年3月期通期	**板厚制御装置の更新** 制御装置老朽更新：品質向上	**290百万円**
	圧延ライン自動化システムの更新 搬送制御装置老朽更新：生産性向上	**230百万円**
	4HM形状計の更新 計測器老朽更新：品質向上	**100百万円**

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

大型設備投資予定

冷却床乗移り装置設置（2023年度予定）

目的：品質向上。搬送時の裏面疵低減

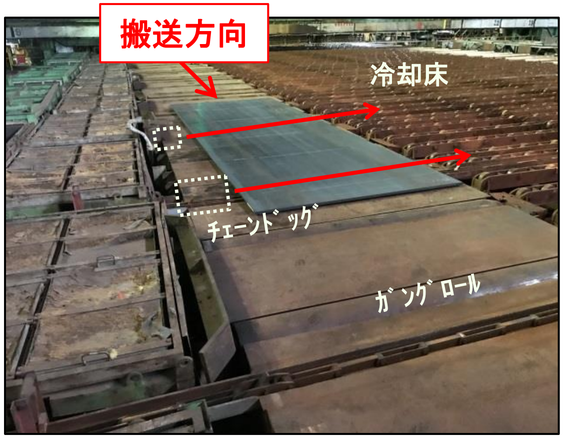


写真　搬送状況

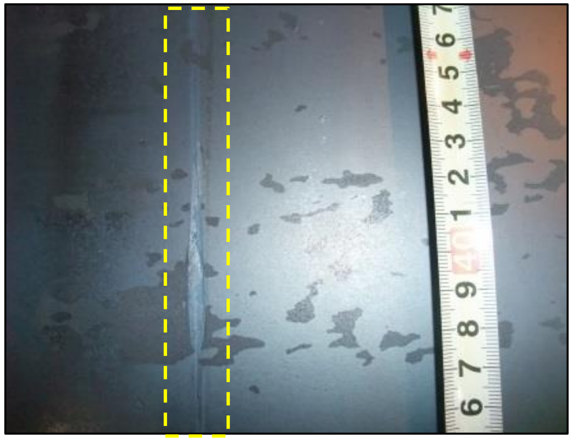
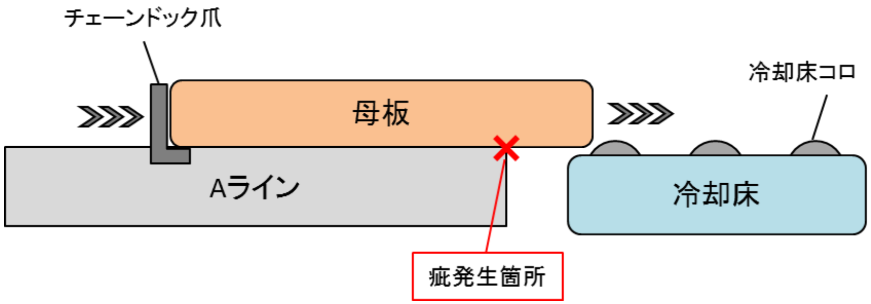
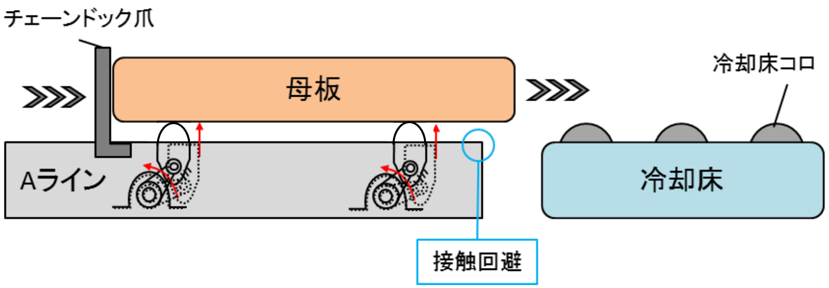


写真　裏面疵

現状



改造案



© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

大型設備投資予定

取鍋搬送用(300ﾄﾝ)クレーン更新(2023年度予定)

目的:作業改善。半自動運転及び無線操作

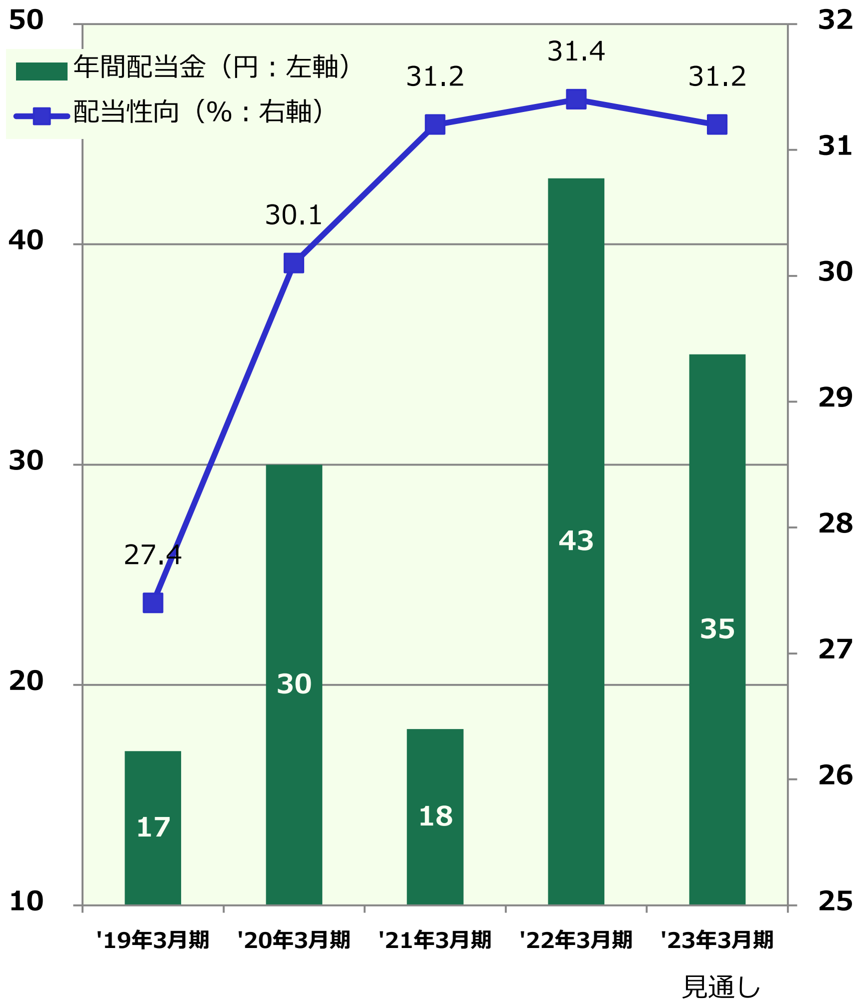
写真　クレーン全景

写真　取鍋搬送中

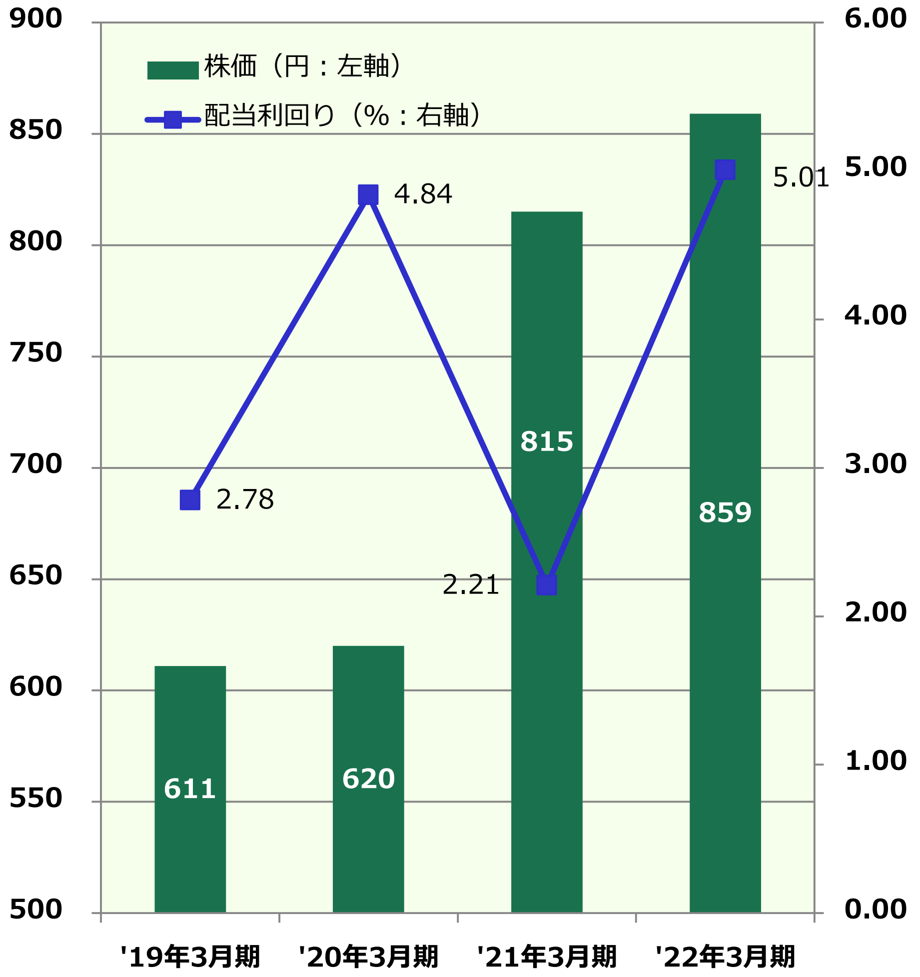
© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

‘23年3月期　配当予想

配当と配当性向



株価と配当利回り



※株価は3月末基準

© 2021 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

CHUBU STEEL PLATE
中部鋼鈑株式会社

ご静聴
ありがとうございました

あつい心で未来を創ります
中部鋼鈑株式会社